



疑問に思った事は、何でも考える方であるので。今まで、30年間、色々考えてきたが、何も進歩してない。仕事は、配送の仕事で、手取り18万程円度。考える事といえば、悩みである。この先、結婚できるのか？。体は大丈夫か？。もっと、いい仕事はないか？。と同じような事を、延々と考えてきた。何かをいつも考えているのだけど、何も進歩しない。進歩を、特に、目的として、考えているのではないが。間違っているように思う。だから、何が間違っているか？。真剣に考えてみるが、いまいち分からない。そこで、やはり人生のゴールともいえる。結婚かな？と、考えるが、実際、結婚をめざしているが、結婚できないのである。というか、出会い事態がないのである。だから、子供が足りていないように思う。子供を生む時、親は、女性か、男性、どちらを生むか？。選べないのであり。神しか選べないのである。だから、子供は、この人類の、男女の数を、できるかぎり均等にするため。一人生んだら、二人。三人生んだら、四人生まなければ、いけないのではないか。それが、できてないのなら。男女の数が均等ではなく、結婚できない人間が、発生してしまうのであると、考え、悩んでしまう。何とかならないか？。もちろん、なんとかするには、お互いが、意識し、気をつけるように、すればいいのである。しかし、それは、先の未来で、成果のある事である。私は、結婚は、前世に結婚した、異性と出会う事だと、考えている。もちろん、前世の、記憶は無いが。そして、前世あなたと。君と。一緒にいた。結婚していた。と、ならないとおかしい、間違っているように、考えられるのである。それこそ、罪というものであり、罰であると思うのである。それを、来世で、気付くのか。今世で、気付くのか。前世から、気付いているのか。それは、大きな、違いになる。たとえ、死んだら、記憶はまったく無くなり、無になるとしても。来世も結婚しよう。来世も一緒に居たい。前世で、約束したとうり、また、出会えた、結婚できた。というように、お互いの愛の深さ、お互いの愛情の深さで考えるならば、前世、今世で、気付いている方が、全然、幸せになれるだろう。そして、結婚が、一番の幸せでなければ、それは、罪になるのであり、罰になるのである。なぜなら、人間は、地球の視野から、考えれば、植物、動物と同じ、自然である。植物、動物が、自分たちを絶滅させないために、自然に、受粉、交尾をするのと、同じように。人間も自然に交尾をする、同じ自然であるからだ。だから、人間の、性行為は、神の祝福でもあり、人間の本来の目的、務めである。だから、その務めを、果たすための、結婚が、学問があるならば、一番幸せで、なければならない。そうでなければ、それは、罪であり、それは、罰である。こちらも、来世で、気付くのか。今世で、気付くのか。前世から、気付いているのか。それは、大きな、違いになる。前世から、気付いているなら、進化した高度な、魂が浄化した、人間だといえるだろう。そして、人間の、本来の目的とは、もう一つ、進化するという事が、目的であると思う。それは、地球とは何か？。月とは何か？。宇宙とは何か？。意識をもった神は、存在するのか？。人間とは、そもそも何か？。我々の魂は、どこからやって来たのか？。これらを、疑問に持ち、追求、研究していく事が、進化する事であり、人間の本来の目的であり、欲望、願いを叶える事に思う。そして、その作業、仕事は、具体的に何か？。まさに、科学研究だと思う。そしてそれは、人間の自然的な行動、行動の自然的な原因の、自然的な欲求により

、自然に、疑問に思った事を、自然に、追求、研究してできた科学。科学とは、人間が、自然的に、作った言葉である。その言葉、科学こそが、未来で、人間の魂そのものの、姿に変わるものだと思う。ある時、私は、お金をたっぷり欲しいなと思った。そして、お金をたっぷり、稼ぐ方法を、考えてみた。色々考えたが、どんな方法を考えても、知識がいる。ようするに、勉強が必要だ。しかし、勉強は嫌いだ。他に、方法はないか？。色々考えたが、結局、情報を収集する事になった。ようするに、結局、情報を収集する、勉強をすることになった。この勉強の、言葉の意味は、勉強が嫌いが、前提である。ようするに、勉強が好きであるならば、勉強している事にならないわけだ。だから、まず、情報を収集する前に、勉強を好きになる方法を考えた。それには、まず、なぜ？勉強が嫌いか？。を考える必要があった。なぜ、私は、勉強が嫌いなのか？。その疑問を、解消する必要があった。それには、まず、勉強とは、何か？。を、なぜ、私は、勉強が嫌いなのか？。を、解消する前に、考える必要があったので、先に考えてみた。勉強とは、何か？。考えてみると、なかなか難しいように、考えられる。なぜ、そのように、考えられるのか？。それは、事実。勉強とは、何か？。分かっていないからだ。だから、考えている。という事は、考えるという事を、考える必要がある。それは、どういう事か？。まず、考える必要があるという事を、考えている。そして、その必要性は、何か？。なぜ？考える必要があるのか？。勉強とは、何か？。の、答えを、出さなければ、いけない為である。それが、必要性である。次に、必要性があるから、考えている。そして、考えている事を、考えている。何を考えているのか？。それを考えている。その時が、自分の考えている事が、その時の考えが、自分の考えている事なんだ。という事は、考えること事態、自分を知る事になる。では、勉強とは、何か？。今ここでは、考えている事が、勉強に、なるのではないか？。という事を、考えている。という事は、人は本を読んでも、読んだ内容を考えているわけだから、勉強とは、今のその時、考えてる時点、その時、自分が頭の中で見ているものを、見て、知る作業。自分を知るという事になる。そして、それは、小さい意味での、自分とは、人間とは、地球とは、何か？。の追求の、一部分として考えられる。その一部分の目的ではなく、もっと深い、地球とは何か？。月とは何か？。宇宙とは何か？。意識をもった神は、存在するのか？。人間とは、そもそも何か？。我々の魂は、どこからやって来たのか？。という事を知っていく、それを知った自分を知っていくのが、勉強ではないのか。勉強とは、何か？。それは、主観的ではあるが、解けた事にする。次に、なぜ勉強が嫌いか？。それは、ずばり、人生の目的を見失っている状態だからだろうと、考えられる。では、人生の目的とは、何か？。それは、もちろん、個人によって、違う。私の人生の目的は何か？。前に、考えた自分のとうり、地球とは何か？。月とは何か？。宇宙とは何か？。意識をもった神は、存在するのか？。人間とは、そもそも何か？。我々の魂は、どこからやって来たのか？。これらを、疑問に持ち、追求、研究し、進化する事が。前に考えたとうり、自分の目的のように、考えている。そして、その自分を、知る。そして、私が、この、今の、現時点の考えにいたった、原因は、ある時、お金をたっぷり欲しいなと思った。そして、お金をたっぷり、稼ぐ方法を、考えてみた。のである。これで、私が、なぜ勉強が嫌いか？。の原因は、解けた。自分の本来の、目的の勉強とは、違ったからである。けれど、お金をたっぷり、稼ぐ方法を考えてみよう。もちろん、この勉強は、本来の自分自身の目的ではないので、

この勉強は、やはり、私の、したい事に、できないが。では、なぜ、わざわざこの勉強をする？。科学が、かんでいる可能性が、あるからだ。昔の、出来事を、思い出した。それは、30年以上前の出来事である。私は、派遣社員として、ある企業の手伝いをしていた。その時、職場で、たまたま一緒になった、人物が、言っていた、話しである。その人物は、ギャンブル好きらしく、ギャンブルの話しをしてきた。カジノが好きらしい。その人物は、カジノを、研究中らしく、いずれカジノだけで、生活していくのが、目的だと言っていた。そして、その人物は、カジノは、計算すれば、確実に勝てるものだと、言うのである。ようするに、カジノは、確立の問題であり、確立さえ掴めば、確実に勝てると言うのである。私は、カジノに興味がないので、その話しは、あたり前の事なのか？。カジノは、運なのか？。はっきり分からないのである。そして、彼が言うには、確立は、計算しなければ、運として、偶然の重なりで、発生するものだが。確実に、確率を計算できれば、確立は、運としての、偶然の重なりでわなく、出来事に必ず、原因があるように。確率は、必然的に、発生しているという。だから、確立を確実に、計算する方法論を、編み出せば、テクニックや、直感でわなく、確実に勝てるというのである。だから、私は、その確立の、計算を、勉強中だというのである。私には、それが、カジノをやっている人間にとって、あたり前の事なのか？。とても偉い事なのか？。分からないと、その人物に、言った。それは、私にも、分かるわけない。分かるのであれば、カジノだけで、すでに、生活できている。カジノの真実は、誰もが、隠しているはずだ。そうでなければ、負ける人間が、いるわけがない。私は、そう思い。確かにと、答えた。もし、カジノに、いつも勝っている人物に、勝ち方を聞いたとしても、勝てるやり方の真実を、教えるわけがない。教えるとしたら、嫁さんか、旦那にしか、教えないだろう。なぜなら、カジノは、例えるならば、カジノで遊んで、負けた人たちの、お金のプール金を、儲けているのだから。勝てる人間を増やさないようにする必要があるからだ。例えば、600万円のプール金があるとしよう。このプール金を、6人で、取り合いしたとしよう。カジノの、ゲームは、何でもいい。平等に分けるなら、一人100万円。しかし、カジノ、ただで100万円貰えるわけではない。勝たなければいけない。だから、一人だけ、600万円、貰える、確立が発生するわけだ。そんな状況の中、他人に、勝ち方を教えられないわけない。そして、600万円貰える確立、それを、誰もが、みんなが、目指しているのだから。しかし、確立を確実にどう計算する？。それを、今研究中なのだが。少し話そう。例えば、サイコロがあるだろう。サイコロの一を中心に考えよう。サイコロの数は、六種類であるから、六回サイコロをふれば、六分の一の確立で、一がでるはずだ。こういう計算の仕方だ。思わず、私は、大笑いしてしまった。現実には、六分の一の確立で、一がでるわけない。しかし、彼はいった。六分の一の確立で、六回に一回、一はでる。いや、そんな事はない。毎回一がでるまで、確立は、バラバラのはずだ。十二分の一や、八分の一や、十六の分一になるはずだ。しかし、それは事実かもしれないが。それでは、確実な確立は、計算できない。なぜなら、その確立は、毎回バラバラであり、確立をだせない。そして、一番高い確率は、どう考えても、六分の一のはずだ。う〜ん、確かに、サイコロは、六種類だから、一番高い確率は、六分の一のはずだ。オカシイ〜。不思議だ〜。なぜ、毎回、六分の一の確立にならない。不思議だ〜。不思議だけれども、一番高い確率は、六分の一だろう。確かに〜。だから、六分の一な

のさ。なるほど～。簡単にいえば、こういう事さあ。60回サイコロをふれば、六十分の一の確立であり。600回サイコロをふれば、六百分の一の確立という事だ。確かに～。ようするに、一日、8時間に、600回、サイコロをふるとすれば、8時間の間に、100回、一がでるという事になる。その時間を計算するという事なんだ。ようするに、時間の確立を、だすという事なんだよ。そのだした、時間帯にだけ、賭ければ、いいんだよ。なるほど～確かに～～。天才。ありがとう。まあ例えるならば、FXのように、なるわけだ。FX。何なのそれは？。為替保証金取引さ。ようするに、為替さ。為替？ようするに、海外通貨を自国の通貨で安く買い。その通貨を自国、他国に、高くで売り、利益をだす、システムなんだ。それに、似るんだ～。彼は、数ヶ月後、退職した。退職理由は、不明だ。そして、それから約4年後、町で偶然、彼を見かけた。ノイローゼのような、顔をしていた。しかし、私は、彼をなつかしく思い、思わず話しかけた。久しぶり、元気にしてますか？。しかし、彼は、首をかしげ、誰ですか？。と、言う。昔、職場で一緒だったのだけれども、覚えてないですか？。すごい暗い声で、あ～あ～～あの時の～、スイマセン、私、急いでいるんで。この世、もしかしたら、タイムマシーンつくれてるかもしれない？。と、ぼそっと言って、急いで、どこかに行った。タイムマシーン？ そんなの、つくれるわけがない。と思い。私は、彼を、ただの、夢に敗れた、狂乱者と思い。気にしないでした。けれど、私は、今、彼がぼそっと言った事を、考えてみた。なぜなら、彼は、明らかにあの時、私が知らない事を言い、私を、驚かしたからである。そして、私が今、考えているのは、お金をたっぷり、稼ぐ方法である。彼は、今、私が、考えている。お金をたっぷり、稼ぐ方法を、研究していて。それを研究して、彼は、カジノにいったと、考えられるからである。タイムマシーン？。それを作れた者が、いるならば、どうやって、作るのだ？。もし、仮に、現実に、作れているのなら。カジノと同じで、誰にも言わないはずだ。そのように、考えたならば、現実的に、作れている可能性も、ない事もないな。そして、現実的に、作っている事を、なかなか知れるわけがない。もし、タイムマシーンが作れているならば。現実的に、どうやって作るのだろうか？。私は、誰かに、相談したくなかったが、現実には、タイムマシーンを作れた事は、歴史上ないのであり。誰かに相談したところ、精神病扱いされるのが、お決まりである。もし、彼が、ぼそっと言った事を信頼するならば。成果が、第三者の目に、証拠として、現れるまで、誰にも、頼る事は、できないな。そして、仮に、何者かが？、タイムマシーンを作れているとしたら、おそらく、お互い秘密を、共有し、絶対的に、お互い、秘密を、守る事に、なるのかもしれない。そして、もし仮に、誰も作れてないとしたら。それは、秘密にしなければ、いけないのかも、しれない？。もし、例えるならば、人類が、この先、未来で、現実的に、非日常的にではなく。日常的に、タイムマシーンが、つくられるのが、あたり前になると、したならば、どうやって、作るのだろうか？。そして、もし、仮に、人類は、未来で、永遠に、タイムマシーンを作れないとするならば、そちらの方が、不自然に考えられない事もない。彼の後をつけてみれば、よかった。頭の回転が、遅い。私は、念のため、周りを、見回したが、彼の姿は、なかった。私は、まず、図書館に向かった。図書館には、今、販売されてない、いろいろな本が、残っている。何か、ヒントに、なるような本が、事実が、残っているかもしれない。私は、まず、タイムマシーンは、科学になるので、物理の分野で、探したが、あくまで、展望だけである。そして

、次に、私は、もし、仮に、過去に、人類で、タイムマシーンが、作られているとしたら、歴史に、それらしき、事実が、残っているだろうと考え、歴史を、探ってみた。まず、人類のはじまりは、世界歴史上、シュメールという、地方の、場所のあたりから、始まった事に、なっている。そして、最初に人類にいたのは、シュメール人に、なっている。人種は、不明である。その、シュメール人が、子供を生み、民を増やし、民族になり。科学を追究し、農耕を作り。台風などの、災害で、食物など、努力して、作られたものを、神に、破壊されないよう、奪われないように、民族の、共有の、無限ともいえる、土地の中心に、人類、最初の、神殿を作った。そして、最初の、少数の民から、子供を生み、民族に変わり、自分たちで、生きる科学、利潤追求をし、文化を形成し、神殿を建て、人類最初の文化、メソポタミア文明をができた。世界歴史では、それが、事実とされている。そして、このメソポタミア文明から、さらに、人類は、植物のように、子供を生み続け、民を増やし、民族を増やし、豊かな場所にある、土地の取り合いをし、エジプト地方に分かれた。そして、人類、二つめの文明、エジプト文明を形成した。そこでも、神殿は作られた。そして、人は、エジプト文明で、始めて、人間、人を、生きてる人間を、神として、崇めた。そして、メソポタミア文明、エジプト文明から、全世界に、人間の、分布が、始まった。それが、今の、文化形成の根源、先祖の歴史の根源になる。世界歴史では、それが、事実といえる。では、人類が、メソポタミア文明、エジプト文明を、形成するまでの間に、タイムマシーンは、作られたのか？。残念ながら、作られたらしき、事実はない。そして、世界歴史上、人類は、最初に、シュメール地方に発生した。どのように？、どうやって？、シュメール地方に発生したのか？。それを、考えると、不思議である。なぜ、不思議であるのか？。突然、人間が発生するなら。最初から、全世界に、分布していても、いいはずである。どうやって、シュメール地方で、人が、発生したのか？。疑問である。これは、もしかすると？。人類は、宇宙船を開発し、地球に、住みに来たという発想を、展開させる。では、そうなる。最初の、人類はどこか？。この人類は、どこから、地球に、やって来たのか？。になる。そして、そうなる。地球で、人類という、人間という物質が、作られたのではなく。他の場所で、人間は作られた。あるいは、自然発生した事になる。この疑問は、タイムマシーンと、関連性があるのか？。もちろん、関連性がないとはいえない。なぜなら、この疑問の、問題自体、解決していないからだ。もし、関連性があると、前提にして、考えるならば。どういう、関連性になるのか？。まず、タイムマシーンとは、そもそも何か？。それを、考えてみる。タイムマシーンとは、過去、未来に、タイムワープする装置だ。そして、タイムワープの仕方は、現在のところ、不明である。ようするに、作られてないという事になる。私が、タイムマシーンを、作る事を、考えるならば、カメラのシステムが、まず、作れる可能性として、考えられる。それは、なぜか？。まず、ポラロイドカメラで、何かの風景を、2年前に、撮影したとしよう。その写真を見れば、2年前に見た、映像が、見れるわけだ。もちろん、撮り方に、ミスがなければ、肉眼どうりの映像のはずだ。これは、考え直してみると、非常に不思議な出来事だ。現実として、2年前の映像が、残っているのだから。そして、2年前の映像の中だけは、2年前のはずだ。そして、モニターに映すのとは違い、走査線がない。フィルム、写真であるからだ。そして、仮に、その2年前の映像に、入れるとしたら、2年前に、物理的に、行ける事に、ならないか？。という

事である。写真の成分としては、まず、写真に写った映像には、時間帯が存在するはずだ。その時間帯とは、2年前に撮った時の時間、何時何分何秒に、撮った瞬間に、映像を掴まえた、時の、時間の幅の事だ。その瞬間的に掴まえた、映像の時間帯、幅のサイズはいくらか？。それが、成分の大きさを、測るのに、必要なわけだ。そのサイズはいくらになるのか？。そのサイズの大きさが、ワープする時間帯の、ワープゾーンに、なるわけだ。そして、写真の縦の長さ、横の長さのサイズは、時間帯（ワープゾーン）の、座標になるわけだ。ようするに、自分を、点として捉え、そこに、自分が存在している事を証明しているわけだ。現実には、カメラの中に、存在しているわけだ。この時、カメラは、タイムマシーンとして、考えられない事もない。そして、写真の成分は、時そのものだと、考えられるだろう。そして、座標の意味は、偉大な天才博士の、時間がヒダだという事を、証明していると、考えられる。ようするに、違う座標で、写真を撮っても、時間帯（タイムゾーン）は、同じであるという事だ。それは、写真の縦の長さ、横の長さ以外でも。ようするに、写真の映像以外の場所（座標外）で、写真を撮ったとしても、時間帯（タイムゾーン）が、同じであれば、時間帯（タイムゾーン）は、同じだという事だ。これまでの考察で、簡単にまとめれば、カメラは、時を保存できる装置だという事だ。それでは、カメラで、現実に、どうやって、タイムマシーンを作るか？。それは、時間帯を、隙間無く、連続撮影し、その写真、一つ一つを、かぎりなく薄く、スライスし、それを、重ね合わせる。ようするに、時間の立方体を作る。そして、その中に、入る、ワープするわけだ。しかし、この方法では、過去に行けるとしても、未来には、行けない。未来の写真を、撮ることは、できないからだ。そして、限られた過去にしか行けない。自分が撮影した、時間帯にしか、行けないからだ。そして、スライスした、時間帯を、重ね合わせても、それは、もしかすると？。ただの、ホログラフィーといえる、立体映像でしか、ないのかもしれない。だから、もし、カメラで、タイムマシーンを作れたとしても、それは、限られた過去にしか行けず、未来に行けないので、利便性に欠けるのであり、作れても、意味はない。しかし、研究には、なかなかいいだろう。なぜなら、創造した、人工で作られた空間、に行ける可能性がない事もない。ようするに、夢の世界にだ。なぜなら、写真の成分は、撮った後には、同じ成分であるのだから。人工の空間も、過去に存在した、時間帯、空間になり、行ける可能性が、あるからだ。おそらく、カメラは、タイムマシーンに、ならないだろう。

(この文章は、著作権侵害を、許可しません。libjpeg Copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. zlib Copyright (C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler. Copyright (C) 2012 qup All Rights Reserved.)